
開講科目名：経営財務論研究（4単位）

開設年次：1年 2年

開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻 会計学研究科博士前期課程会計学専攻

担当者：中垣 昇

《授業の概要》

グローバル化の進展と情報通信技術の発達に伴い、経営財務（コーポレート・ファイナンス）に関する理論と技法が急速に発達し、適切に対応できる理論およびシステムの構築が求められている。また、たび重なる金融危機を背景に経営環境は激変し、企業のみならず、政府、国際金融機関、さらには個人レベルにおいて経営財務に対する関心が高まっている。

本講義を通じて、各自が経営財務の理論・技法を学び、その長所・限界・問題点を考察できるようになっていただきたい。経営財務の学問分野は、数値によって理論構成される領域が多く、演習問題を解くことにより理解がさらに容易になる。適宜課す演習問題には、積極的に取り組むこと。

1. 経営財務の基礎：経営財務の歴史
2. 経営財務の基礎：基本命題
3. 金融システム：金融市場
4. 金融システム：資本市場
6. 貨幣の時間価値：キャッシュ・フロー、複利化
7. 貨幣の時間価値：将来価値、年金将来価値
8. 貨幣の時間価値：現在価値、年金現在価値
9. リスクとリターン：比率リターン、金額リターン
10. リスクとリターン：ベータ、資本資産評価モデル
11. 価値：企業価値、社債の価値
12. 価値：株式の価値
13. 資本予算：回収期間、平均利益率
14. 資本予算：純現在価値、内部利益率、収益性指標
15. 資本コスト：源泉別資本コスト
16. 資本コスト：加重平均資本コスト
17. レバレッジ：オペレーティング・レバレッジ
18. レバレッジ：フィナンシャル・レバレッジ
19. 資本構成：資本構成の内容
20. 資本構成：企業価値
21. 配当(利益還元)政策：理論的根拠
22. 配当(利益還元)政策：経営システム、企業統治
23. リース
24. 運転資本管理：棚卸資産管理、短期資本調達
25. 長期資本調達：利子の期間構造
26. 長期資本調達：株式、社債
27. オプション：デリバティブ
28. オプション：オプションの評価
29. 国際経営財務：外国為替
30. 企業再構築：M&A

[評価方法]

出席状況30%、小テスト・レポート10%、期末レポート60%

《テキスト》

中垣 昇『経営財務の基礎理論』（税務経理協会）

《参考書》

中垣 昇『財務管理論の基礎〔第7版〕』（創成社）
中垣 昇『日本企業のダイナミズム』（文眞堂）
中垣 昇『日本企業と経営者の役割』（税務経理協会）